

愛知県田原市・豊橋市沖における浮体式洋上風力実証事業の概要

- 愛知県田原市・豊橋市沖は、2023年10月3日に、国(NEDO)のグリーンイノベーション(GI)基金「洋上風力発電の低コスト化プロジェクト『フェーズ2 浮体式洋上風力実証事業』※」の候補海域の一つとして選定されました。
- NEDOは、本プロジェクトの事業実施者を公募(2024年2月9日～3月25日)の上、提案内容の審査を行ってまいりましたが、本日6月11日、本県海域にて実証事業を応募していた(株)シーテックを幹事会社とするコンソーシアムによる共同提案を採択しました。
- 今回、太平洋側で唯一行われる浮体式洋上風力実証となり、国内の洋上風力では最大規模(15MW超)の大型風車1基が運転される計画です。実証期間の2030年度までに、当海域の一定状況下で、浮体式洋上風力を国際競争力のある価格で商用化する技術の確立を目指すものとなっています。
- 今後、実証が円滑に実施されるよう、関係者と十分調整を行いながら、県として積極的に協力していきます。

※ 国の予算額：上限850億円。全国2箇所で、風車・浮体・ケーブル・係留等の一体設計を行う実証を実施

【概要】

実証区域	愛知県田原市・豊橋市沖
実証期間	2024年7月～2031年3月(予定)
実証設備	浮体式洋上風力発電設備
実証基数	1基
風車出力	15MW超(予定)
基礎形式	セミサブ型(半潜水型)

【コンソーシアムの構成】

(株)シーテック
(幹事会社)
発電事業者

日立造船(株)
浮体メーカー

鹿島建設(株)
ゼネコン

(株)北拓
風力発電メン
テナンス企業

(株)商船三井
総合海運企業

【イメージ図】



コンソーシアム提供

【位置図】



NEDO「NeoWins(洋上風況マップ)」をもとに作成